

(様式第 7 号)

平成 30 年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴親海公園		
指定管理者	株式会社農業法人ふるる		
設置目的	海に親しむ憩いの場、海を基調とした自然との触れ合いの場及びレクリエーションの場を提供し、都市との交流を図ることにより地域の活性化に寄与するため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日
所管課	産業振興部水産課、建設部土木課		

2 利用状況等の推移

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
利用者数(人)	18,620	17,665	18,492	20,065	17,925
利用料金(円)	0	0	0	0	0
指定管理料(円)	8,162,000	8,162,000	8,162,000	8,162,000	8,162,000

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
漁村活性化センターの利用人数	25,000 人	12,825 人	11,738 人	92%
海釣護岸の利用人数	8,000 人	9,000 人	6,187 人	69%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	0	人件費	10,243,314
指定管理料	8,162,000	維持管理費	2,183,429
事業収入	18,379,824	事業費	13,125,250
その他	58,396	その他	0
合計	26,600,220	合計	25,551,993
差額			1,048,227

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	漁村活性化センターの利用人数は目標の 92%、海釣護岸は災害復旧工事のため約 9 ヶ月間、護岸の半分程度しか使用できず、69%の達成度となった。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	概ね施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営ができた。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	概ね施設の果たすべき使命(ミッション)を果たした。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	漁村活性化センター(レストラン エムズデリ)の売上高は、ほぼ前年と同額であったが、経費(人件費)の削減により、公園部門と合わせ 104 万円のプラスとなった。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	△	漁村活性化センターの利用者は前年度比 103%と微増であった。海釣護岸は、災害復旧工事のため約 9 ヶ月間、護岸の半分程度しか使用できず、前年度より 29%、2,507 人減少した。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	アンケート結果等によると概ね満足が得られているものと認められる。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	レストランではアンケートや利用者から直接聞き取るなど、意見の把握に努めている。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	概ね満足が得られているものと認められる。

(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	人件費や電気料金契約プランの見直しなど経費削減に努めた。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	原材料費の値上げがあったが、メニューと食材を見直し、在庫管理を徹底することにより、経費削減に努められた。
収入増加のための取組が行われたか	○	ジャズや落語など集客のための新たな取り組みが実施された。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	△	夜の宴会準備のため、昼間の営業時間を短縮する場合があった。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	接遇の研修参加など、能力向上のための取組が行われた。
施設の平等な利用が行われたか	○	特に問題なく利用されている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	予約客の名前、電話番号等の個人情報について、適切に管理されている。
情報の公開が適切に行われたか	○	該当する事案はなかった。
収支状況や会計処理が適切か	○	収支状況や会計処理に特に問題はない。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	法定点検及び保守は、専門業者等に委託し、適切に行われている。
備品等の管理が適切に行われたか	○	備品等の管理は適切に行われている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	仕様書に基づく安全管理計画や事故対応マニュアルが作成されている。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	管理運営にあたっては、法令を遵守し適正に行われている。
(5) その他コメント		
サービス向上		公園利用者の快適性を向上させるため、清掃等清潔な環境づくりのほか「ジャズ」や「落語会」など文化芸術面での新たに取り組みが実施され、参加者に好評であった。今後も、このような集客につながる取り組みを継続して実施し、利用促進に努めていきたい。
経費削減		シェフ(社員)の退職により、契約社員を採用して対応したことにより人件費が大幅に削減されたことが大きい。コスト意識の徹底や電気料金の削減により黒字となったことは評価できる。しかしながら人手不足のため、利用者を逃すこともあり、サービスの向上、スタッフの雇用、売上の増加をよく検討して経営に当たっていただきたい。
施設の維持・管理		公園利用者の快適性、利便性向上のため、更にもっと細やかな管理により公園利用者に不快感を与えることがないように努めていただきたい。漁村活性化センター及び海釣り護岸については、定期的な点検と清掃を徹底し、また、運動及びふれあい広場においても定期的な除草、剪定、清掃を実施し、常に、利用者に心地良い空間を提供できるように努めていただきたい。

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	収支の黒字化を評価する。 年間目標が市設定目標に対して低い。消極的に感じられる。 イベントのPRなどについてメディア等を上手に活用してほしい。	

《参考》 過年度の評価点

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
3.2点	2.42点	2.5点	2.83点	2.74点